

5 モーセは律法による義について、こう書いています、「それを行なう者は、それによって生きる」。

6 ところが、信仰による義はこう語っています、「あなたの心の中で、『だれが天に昇るであろうか？』と語ってはならない」。それは、キリストを引き下ろすことです。

7 あるいは、「『だれがアビスに下るであろうか？』と語ってはならない」。それは、キリストを死人の中から引き上げることです。

8 それでは何と語っていますか？「言葉はあなたに近い。あなたの口の中に、またあなたの心の中にある」。これは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉です。

9 すなわち、あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます。

10 なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。

11 聖書は、「すべて彼に信頼する者は、辱められることがない」と語っています。

12 ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。

13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。

14 それでは、信じたことのない方を、どのように呼び求めるのでしょうか？聞いたことのない方を、どのように信じるのでしょうか？彼を宣べ伝える者がいなくては、どのように聞くのでしょうか？

15 遣わされないのに、どのように彼を宣べ伝えるのでしょうか？「福音の喜ばしいおとずれを告げ知らせる者の足は、何と麗しいことであろう！」と書かれていますとおりで。

6 節 FN「引き下ろす」：これはキリストの受肉のことを言っています。

7 節 FN「アビス」：ギリシャ語は、ルカによる福音書 8:31 では、悪鬼どもの住みかを言います。啓示録 9:1、2、11 では、いなごが出てくる場所を指し、その王はアポルオン(反キリスト)です。啓示録 11:7 と 17:8 では、獣、反キリストが上ってくる場所を意味します。啓示録 20:1 と 3 では、サタンが投げ込まれ、千年の間、閉じ込められる場所です。旧約聖書のギリシャ語訳である七十人訳は、この言葉を創世記 1:2 の「深淵」という言葉に使っています。この節では、キリストが彼の死後、復活の前に訪れた場所を指しています。その場所は、使徒行伝 2:24 と 27 によれば、ハデスです。なぜなら、使徒行伝 2:24 と 27 は、キリストが彼の死後、ハデスへ行き、そこから復活の中で起き上がられたことを啓示しているからです。ですから、聖書の用法によれば、「アビス」は、いつも死とサタンの暗やみの力の領域を言い、それは地のさらに低い所であって、そこへキリストは彼の死後、下っていき、それを征服して、復活の中でそこから上がられたのです。

7 節 FN「引き上げる」：これはキリストの復活のことを言っています。

8 節 FN「言葉」：この「言葉」と「キリスト」が、交互に使われているのは、この言葉がキリストであることを示しています。キリストは、天から下ってきて受肉し、ハデスから上ってきて復活されました。こうして、彼は生ける言、その霊となり、わたしたちの口の中、心の中にあるようになられました。それは、空気や息のように、わたしたちの中に取り入れることができます。彼は近く、便利です。

9 節 FN「口」：キリストは、わたしたちが彼にあずかることを必要とされます。わたしたちは、彼を入れる器として造られたのですから、心で信じて彼を受け入れ、また絶えず口で彼を呼び求めて彼を取り入れ、彼の豊富が、わたしたちのむなしい器を満たし続ける必要があります。

9 節 FN「復活させた」：キリストが死人の中から復活させられたことは、目に見えませんでした。ですからわたしたちは、それを信じる必要があります。さらに、キリストの死はわたしたちを贖いましたが、わたしたちを救うことができるのは、ただ復活における彼の命だけです。ですから、神が彼を死人の中から復活させることで、彼にあつて遂行されたこの大いなる奇跡を信じてはじめて、わたしたちは贖われ、救われることができるのです。

10 節 FN「口で告白して」：心で信じるのは、神に向かっています。口で告白するのは、人に対してです。心で信じるとは、神が栄光を与え、死人の中から復活させられたキリストを信じることです。口で告白するとは、人に侮られ、捨てられたイエスが主であると告白することです。いずれも、わたしたちが義とされ、救われるための条件です

10 節 FN「救われる」：すなわち、という結果になる。

12 節 FN「豊かです」：これは、神がキリストにあつてわたしたちを選び、贖い、義とし、聖別し、同形化し、栄光化されるのは、わたしたちがキリストにあつて、彼の計り知れない豊富を享受するためであることを見せています。これを享受する秘訣は、彼の御名を呼び求めることです

13 節 FN「主の御名を呼び求める」：主の御名を呼び求めるのは、わたしたちが救われる秘訣であるだけでなく、主の豊富を享受する秘訣でもあります。人類の第三代目のエノスに始まり、新約の信者たちに至るまで、神に選ばれ、贖われた人たちは、この秘訣によって、キリストの贖い、救い、彼の豊富すべてを享受しました。

13 節 FN「救われる」：この救われるとは、主の豊富の享受へもたらされることです。主はユダヤ人にもギリシャ人にも豊かです。主の御名を呼び求めるすべての人は、この豊富な主を享受します。その結果、彼らは彼で満たされ、彼を表現します。

14 節 FN「信じたことのない方を」：主を信じる人は、必ず主の御名を呼び求めます。主を呼び求めた結果、直ちに救われます。

14 節 FN「聞いたこと」：これは、信じることは言葉を通してであり、言葉に基づくことを暗示します。